



2023(令和5)年4月号

「無明煩惱」

この時期は花粉かと思いきや、中国から黄砂も飛散し、家の壁や屋根、車の外装が花粉と黄砂で真っ黄色になる日々です。黄砂の飛散量がさまざまに自然破壊により増加して日本にも影響が及んでいます。黄砂だけではなく、PM 2.5など様々な物質による大気汚染。気候変動など様々な影響による世界の大気汚染が深刻で、世界131カ国・地域を調査した結果、WHOの基準を合格したのは、たった13カ国・地域にとどまったそうです。ちなみに日本も残念ながら合格していません。

私たちは人間は私利私欲のため、便利さ豊かさを最優先にして科学を進展させました。確かに便利な世の中で不便を感じることは少ないでしょう。しかし、これと引き換えに自然を破壊し、気候変動による異常気象で、毎年世界中でさまざまな自然災害が起こり、甚大な被害が出ています。これは各々が未来のことを考えず、豊かな暮らしを

求めたからに他なりません。

さて、今月はこんな身勝手な人間を自省する格言のお話しです。ネイティブアメリカンには様々な部族の格言があるそうです。その中に、次のような言葉があります。

「我々が他の生き物に畏敬の念を示せば、彼らも畏敬の念をもって我々に応える。」(アラパホ族)

「大地(自然や地球も表していると思います)を大切にしないさい。それは親から与えられたものではなく、未来の子供から借りているのだ。」(詳細不明)

一つ目の言葉は、分かりやすいですが、二つ目の言葉には、視点の違いに驚き、深く感銘を受けました。自然は先人(ご先祖)から受け継がれてきたものなら自分のものという独占意識が生まれるものです。しかし、未来の子どもから借りている預かりものと考え、むやみに自由にすることもできず、大切に扱って返さなければと思います。

仏教では、私たち人間を無明煩惱と言います。無明とは明かりがない、無知ということ。煩惱とは、欲望

や怒り、妬み、私たちの心身を悩ませ、苦しませる根源です。無明煩惱とは、全てわかったつもりで、おごり、実は何もわかっていない。無知がゆえに本質が捉えられず、煩惱に悩まされるさまで。

無明煩惱の私が、仏さまの智慧の光に照らされたとき、煩惱まみれの人間は他の誰のことでもなく、この私であったと気づかれます。仏法に出会い、自分自身を見つめ直し、深い自省の念を起こして、おごらず慎ましやかに歩みたいものです。

会館からのお知らせ

現在、毎週水曜・木曜の終日、職員が不在にいたしております。また、朝のお勤めもお休みとなります。ご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お葬儀、ご法事など仏事に関するご希望は、年末年始、曜日などを問わず、お受けいたします。

会館のお知らせ

★春季彼岸会・奉讃会永代経法要

講師：友岡 晃二 師（東京都 妙蓮寺）
3月21日（日） 午後1時～ お勤め：仏説阿弥陀経

今回は、16名のご参加をいただきました。ご講師は鍼灸の仕事の経験がおりということで、途中にはツボ押しのお話もございました。法話中に自身のツボを押しながら、楽しみながらお話しをお聞きすることができました。

終了後、来月の行事（灌仏会）の花御堂のお飾りをお手伝いいただきました。

ご講師：友岡 晃二 師



法要・法座のようす



会館のお知らせ

ききょうしき 帰敬式 —おかみそり— のご案内

帰敬式とは、生前に法名(一般的にいう戒名、浄土真宗では法名という)を受ける儀式のことです

帰敬式、それはあなたの2回目の誕生日。あなたが生まれたときが1回目の誕生日。そして、あなたが法名をいただいた日、仏弟子として生まれた日が人生2回目の誕生日です。生きている今こそ、法名をいただいて新しい人生を始める。授かった法名は、嬉しいとき、そして苦しいときにも、仏さまの教えを依りどころとする人生の道しるべとなるでしょう。

あなたも第二の人生をスタートさせてみませんか？

※詳細は会館までお気軽にお問い合わせください。

永代経の奨励について

さて、みなさま「永代経」という言葉をご存知でしょうか？「末永く(永代に)お経が読まれる」ということです。ある程度まとまったお布施を「永代経懇志」としてお納めいただき、お寺では「永代経法要」をお勤めさせていただきます。これによって、お寺が末永く存続し、そこで子や孫が代々にわたって仏さまの教えを聞き喜ぶことが出来るものです。

お寺が存続することで、故人さまの節目のご法事(お盆、お彼岸、年回忌法要など)を当会館が永代にわたってお勤めさせていただきますことが出来ます。ご先祖をはじめ、先立った故人の御命日に誰かお参りするだろうか、残された方に負担をかけないだろうか、つい心配になる自分が亡くなった後のこと。そんなあなたが安心することが出来る「永代経」をご検討されてみませんか？

2023年 年回忌表	
1周忌	令和4年
3回忌	令和3年
7回忌	平成29年
13回忌	平成23年
17回忌	平成19年
23回忌	平成13年
25回忌	平成11年
27回忌	平成9年
33回忌	平成3年
37回忌	昭和62年

(ご法要のお申し込みをお忘れなく)
 ※インターネット配信によるオンライン法要も承ります。遠方の方にはネットで繋ぎ、一緒にお参りしましょう。くわしくは当会館までお問い合わせください。

2023年の年回表

お飾りいただいた花御堂



東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

▶ 4月の行事予定

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

4月16日(日) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか？
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

灌仏会

講師：山本清哲 師（神奈川県 妙延寺）

4月16日(日) 午後1時～

灌仏会（花まつり）は、お釈迦さまがお生まれになってすぐ七歩歩き、「天上天下 唯我独尊」と仰った時に甘露の雨が降ったことから、お釈迦さまの仏像に甘茶をかけて、御誕生をお祝いする行事です。皆さまも一緒にお祝いしませんか？

▶ 5月の行事予定

常例法座

講師：未定

5月14日(日) 午後1時～

今年度最初の常例法座です。
仏さまのお話をご一緒にお聞きいたしましょう。

東久留米会館会報 「ともしび」
第324号
発行日 2023年4月1日
発行所 東京都東久留米市柳窪5-8-30 富永 秀徳
電話 042-474-6787

編集後記

今年は桜の開花が著しく早く、境内の桜も今（3月28日）の時点で散り始めています。はかなく散っていく花びらも風情があり良いものですが、これから待っている境内の花びらの掃除を考えるとなんとも言えない感情になる今日この頃です。

先月のお仏飯米などのご進納

山下 肇 様 服部 末春 様
高島 のぶ子 様 近藤 敏之 様
神谷 正弘 様（お茶） 順不同 様
誠にありがとうございました。